



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場会社名 東ソー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4042 URL http://www.tosoh.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 寿宣  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営管理室長(氏名) 河本 浩爾 (TEL) 03-5427-5123  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	601,930	17.2	94,345	32.0	99,720	32.1	68,978	33.0
29年3月期第3四半期	513,397	△10.2	71,469	48.0	75,476	55.5	51,848	71.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 77,017百万円(50.9%) 29年3月期第3四半期 51,025百万円(80.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	212.45	212.23
29年3月期第3四半期	159.75	159.55

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	821,352	506,425	57.3
29年3月期	782,623	448,335	52.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 470,977百万円 29年3月期 413,210百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.50	—	16.50	24.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	24.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合したため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金を12円から24円へ修正し、年間配当金合計は「—」として記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は、12円となります。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	800,000	7.7	118,000	6.1	120,000	6.1	82,000	8.4	252.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、126円28銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	325,080,956株	29年3月期	325,080,956株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	377,823株	29年3月期	447,442株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	324,675,340株	29年3月期3Q	324,557,444株

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

連結業績予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づいております。従いまして今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

平成30年2月5日(月)に、四半期決算説明資料を当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
3. 補足情報	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）のわが国経済は、企業収益や国内設備投資が改善するなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の政治的混乱や欧州政治の不確実性の拡大、朝鮮半島や中東地域における地政学リスクの高まりなど、世界情勢の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢下、当社グループの連結業績は、売上高については、ナフサ等の原燃料価格の上昇に伴う石油化学製品の価格上昇や海外製品市況の上昇により、6,019億30百万円と前年同期に比べ885億33百万円（17.2%）の増収となりました。営業利益については、販売価格の上昇が原燃料高の影響を上回ったことにより交易条件が改善し、943億45百万円と前年同期に比べ228億75百万円（32.0%）の増益となりました。経常利益については、為替差益の増加により997億20百万円と前年同期に比べ242億43百万円（32.1%）の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、689億78百万円と前年同期に比べ171億29百万円（33.0%）の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### 石油化学事業

エチレン、プロピレン等のオレフィン製品は、非定修年による生産量の増加に伴い出荷が増加いたしました。また、ナフサ価格等の上昇を反映して製品価格は上昇いたしました。

ポリエチレン樹脂は、国内出荷が増加し、ナフサ価格の上昇を反映して国内価格が上昇いたしました。クロロプレノゴムは、好調な海外需要に牽引され出荷が増加し、輸出価格が上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ209億86百万円（18.3%）増加し1,353億66百万円となり、営業利益は前年同期に比べ41億43百万円（30.8%）増加し175億84百万円となりました。

#### クロル・アルカリ事業

苛性ソーダは、国内価格の是正及び海外市況の上昇により製品価格は上昇いたしました。塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、出荷が堅調に推移し、国内価格の是正及び海外市況の上昇により塩化ビニル樹脂の製品価格は上昇いたしました。

セメントは、国内輸出とも出荷は堅調に推移いたしました。

ジフェニルメタンジイソシアネート（MDI）は、輸出価格が海外市況を反映して上昇いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ503億25百万円（26.1%）増加し2,429億66百万円となり、営業利益は交易条件の改善により、前年同期に比べ182億5百万円（64.9%）増加し462億48百万円となりました。

#### 機能商品事業

エチレンアミンは、北米向けの出荷が増加いたしました。

計測関連商品は、液体クロマトグラフィー用充填剤の出荷が増加いたしました。診断関連商品は、体外診断用医薬品の出荷が増加いたしました。

ハイシリカゼオライトは、北米向けの出荷が減少いたしました。ジルコニアは、歯科材料用途や装飾品用途での出荷が増加いたしました。石英ガラスは半導体装置向けの出荷が増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ157億21百万円（12.8%）増加し1,383億98百万円となり、営業利益は前年同期に比べ6億27百万円（2.4%）増加し270億84百万円となりました。

## エンジニアリング事業

水処理事業においては、前期に大型案件のあった東南アジア及び国内の一般産業分野の他、一部に投資計画の遅れが見られた台湾の電子産業分野で売上高が減少いたしました。

建設子会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ2億1百万円(0.4%)減少し542億70百万円となり、営業利益は前年同期に比べ3億97百万円(23.5%)悪化し12億97百万円となりました。

## その他事業

商社等その他事業会社の売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は前年同期に比べ17億1百万円(5.8%)増加し309億28百万円となり、営業利益は前年同期に比べ2億97百万円(16.2%)増加し21億30百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

総資産は、受取手形及び売掛金、投資有価証券の増加等により、前期末に比べ387億29百万円増加し8,213億52百万円となりました。

負債は、有利子負債の減少等により、前期末に比べ193億60百万円減少し3,149億27百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前期末に比べ580億89百万円増加し5,064億25百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年10月31日に発表した予想からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	85,813	83,656
受取手形及び売掛金	199,540	214,682
商品及び製品	81,699	86,194
仕掛品	7,981	11,755
原材料及び貯蔵品	37,678	39,668
その他	36,077	35,393
貸倒引当金	△775	△811
流動資産合計	448,014	470,538
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	69,173	74,305
土地	73,464	73,232
その他（純額）	92,210	93,612
有形固定資産合計	234,849	241,150
無形固定資産		
	3,531	4,198
投資その他の資産		
投資有価証券	56,108	66,301
退職給付に係る資産	20,211	20,794
その他	20,256	18,719
貸倒引当金	△349	△350
投資その他の資産合計	96,227	105,464
固定資産合計	334,608	350,813
資産合計	782,623	821,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,835	101,176
短期借入金	82,383	83,878
未払法人税等	25,100	16,289
引当金	8,274	6,931
その他	32,293	31,535
流動負債合計	247,886	239,811
固定負債		
長期借入金	57,459	43,552
引当金	2,501	1,031
退職給付に係る負債	19,282	19,805
その他	7,157	10,726
固定負債合計	86,400	75,115
負債合計	334,287	314,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,173	55,173
資本剰余金	44,719	44,724
利益剰余金	301,820	352,268
自己株式	△360	△339
株主資本合計	401,352	451,826
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,004	19,734
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△2,464	△2,441
退職給付に係る調整累計額	1,320	1,857
その他の包括利益累計額合計	11,857	19,150
新株予約権	269	282
非支配株主持分	34,855	35,165
純資産合計	448,335	506,425
負債純資産合計	782,623	821,352

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	513,397	601,930
売上原価	366,545	426,530
売上総利益	146,851	175,400
販売費及び一般管理費	75,381	81,054
営業利益	71,469	94,345
営業外収益		
受取利息	102	116
受取配当金	1,438	1,540
為替差益	811	2,295
持分法による投資利益	1,771	1,508
その他	1,426	1,309
営業外収益合計	5,550	6,769
営業外費用		
支払利息	1,174	969
その他	368	424
営業外費用合計	1,543	1,394
経常利益	75,476	99,720
特別利益		
固定資産売却益	133	136
投資有価証券売却益	9	228
特別利益合計	143	364
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	1,038	818
投資有価証券売却損	1	-
投資有価証券評価損	149	-
減損損失	-	25
特別損失合計	1,188	845
税金等調整前四半期純利益	74,431	99,239
法人税等	21,962	29,651
四半期純利益	52,468	69,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	620	609
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,848	68,978



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	52,468	69,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,940	6,638
繰延ヘッジ損益	0	5
為替換算調整勘定	△7,815	△171
退職給付に係る調整額	693	614
持分法適用会社に対する持分相当額	△262	342
その他の包括利益合計	△1,443	7,429
四半期包括利益	51,025	77,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,946	76,271
非支配株主に係る四半期包括利益	79	746

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めております。

## (セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	114,380	192,641	122,676	54,472	29,226	513,397	—	513,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,438	16,404	8,876	7,316	36,162	121,198	△121,198	—
計	166,818	209,046	131,553	61,788	65,388	634,595	△121,198	513,397
セグメント利益	13,440	28,043	26,457	1,695	1,832	71,469	—	71,469

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	石油化学	クロル・ アルカリ	機能商品	エンジニ アリング				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	135,366	242,966	138,398	54,270	30,928	601,930	—	601,930
セグメント間の内部 売上高又は振替高	61,043	19,449	8,899	7,451	38,881	135,725	△135,725	—
計	196,410	262,416	147,298	61,721	69,809	737,656	△135,725	601,930
セグメント利益	17,584	46,248	27,084	1,297	2,130	94,345	—	94,345

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送・倉庫、検査・分析、情報処理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 補足情報

**2017年度第3四半期連結決算概要**平成30年2月2日  
東ソー株式会社

## (1) 業績

(単位:億円)

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	増 減	2016年度	2017年度(予想)
売上高	5,134	6,019	885	7,430	8,000
営業利益	715	943	229	1,112	1,180
経常利益	755	997	242	1,131	1,200
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	518	690	171	757	820
1株当たり四半期(当期)純利益	159円75銭	212円45銭	52円70銭	233円12銭	252円56銭

(注)平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式2株を1株の割合で併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

## (2) 指標

	2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	増 減	2016年度	2017年度(予想)
為替[TTM期中平均](円/\$)	106.61	111.69	5.08	108.35	110.52
為替[TTM期中平均](円/EUR)	117.99	128.55	10.56	118.75	128.16
国産ナフサ価格(円/KL)	32,333	39,733	7,400	34,725	40,325

## (3) 事業セグメント別増減内訳

(単位:億円)

		2016年度 第3四半期	2017年度 第3四半期	増 減	増 減 要 因			
					数量差	価格差	交易条件	固定費差他
石油化学	売上高	1,144	1,354	210	22	188	-	-
	営業利益	134	176	41	14	-	8	19
クロル・アルカリ	売上高	1,926	2,430	503	59	445	-	-
	営業利益	280	462	182	△6	-	223	△35
機能商品	売上高	1,227	1,384	157	88	69	-	-
	営業利益	265	271	6	37	-	△2	△28
エンジニアリング	売上高	545	543	△2	△12	10	-	-
	営業利益	17	13	△4	△4	-	0	0
その他	売上高	292	309	17	15	2	-	-
	営業利益	18	21	3	3	-	0	0
合 計	売上高	5,134	6,019	885	171	715	-	-
	営業利益	715	943	229	43	-	230	△44

(注)億円未満は四捨五入